



キラットさん

BE AMBITIOUS

「花輪線のタロット師」

大館鳳鳴高校

2年 佐藤 旭さん

今年度から毎月一日号に市内各学校の個性的な若者を紹介していきます。第一回は、大館鳳鳴高校から登場です。

この春無事(?)二年生に進級した佐藤さんは、鹿角市からJR花輪線で通学しています。運動部所属でも

ないのに丸刈りの頭、現在の高校生にはちよつとめずらしい存在です。

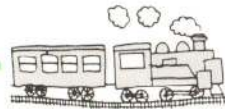
「熱中し過ぎていて、学校の進級が危うかったんです」と言うほど占いが好きで、タロット占いを始めたのは、なんと高校入試の十日前。「不合格と出た初めての占いがはずれのおかげで合格できました」と言う佐藤さん。でもこれははずれて良かったですよ。

その容姿と特技のタロット占いのイメージ的なギャップのためか、校内では「花輪線のタロット師」と呼ばれ、恋愛占いなどに引っぱりだこの人気者とのこと。人柄は素朴で、人気者のわりには照れ屋さん。口下手なのが弱点らしく、「占いの結果を説得力のある言葉で相手に伝えたのですが、修行不足ですね」と自己分析。

こんな「花輪線のタロット師」に大館経済を占っていただきました。

「大館経済は今後、混乱期に入ります。打開するには現実を素直にとらえて進路を見極めることが大切。経験者の判断と、若い力との調和を図れば、未来が開けるでしょう」

さて、大館の未来はいかに!?



仙台発 → 大館着

前略

大館市民になりました

38

☆今回は清水4丁目の折田新司さんご一家です。

Q・ご家族は何人ですか?

妻の誠子と二人です。

Q・どちらからおいでになりましたか?

去年の十一月に仙台市から来ました。

Q・大館の印象はいかがですか?

私は北海道の生まれなので、開拓から歴史が浅い北海道に比べて歴史のある町だなと思います。アメッコ市などの行事での人出の多さには驚かされました。それと、仙台より空が曇りがちですね。太平洋側とは気候が違うのでしょうか。

Q・食べ物や言葉はどうですか?

仕事で郡部へ行くことが多いので、言葉では特に閉口しましたね。相手の言葉が分からないまま相づちを打ってしまう場面もありましたよ。食べ物は、妻が田代町出身なので、地元料理に親しんでいます。川魚やミズノたたきをつまみながら、妻の実家の父と吟醸酒で一杯、なんて時もあります。

Q・大館にどんなことを望みますか?

基幹道路の整備ですね。車で移動することが多い仕事なので、道路の不便は痛感しているんですよ。バイパスの開通に期待しています。それに、スポーツが趣味なので、総合スポーツセンター的な施設が欲しいですね。大館ドームの建設計画がありますが、完成後にどのような利用をするのが大切な問題だと思います。他の町では、施設はできたもののその後鳴かず飛ばず、という例もありますから。

